

平成 30 年度 第 3 回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

平成 30 年 11 月 15 日（木）18:30～20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者	8名…岩堀、石塚、川島、佐久間、多賀名、妻沼、吉田、小澤
欠席者	2名…藤野、三澤
事務局	2名…市民生活課 櫻井、里吉
指定管理者	2名…NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 高橋、沼崎
傍聴者	0名

- 配布資料
- 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声
 - 2 夏のボラ市（夏のボランティア・市民活動体験）2018 報告
 - 3 のたろんフェア 2019 について
 - 4 サポートセンターデータベース登録団体一覧・新規異動分
 - 5 市民公益活動ポイント制度 座談会の開催について
- 参考
- 市民公益活動ポイント制度の実施状況について
 - ・ 市民活動・NPOのための 団体の魅力発見講座チラシ

1 報告事項

1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び市民生活課から、資料 1-1 及び 1-2 に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・利用者が前年割れしたのは7月のみ。
- ・団体数は落ちている月もあるが、直近の10月では利用者数団体数ともに前年比増となっている。
- ・大人数で来館し印刷作業をするといったことは減ったが、活動紹介コーナーの増設やにぎわい作戦として行ってきたことの効果が出てきているように思われる。
- ・新しい人を呼び込むという目的で行ったこととして成果が出ていると感じる。
- ・印刷機等の利用状況については、10月は増えているが全体を見ると減少している。
- ・活動紹介コーナー利用状況についてはもれなく埋まっている状況である。今年度追加した第二活動紹介コーナーの利用状況については、まとめ次第報告することとしたい。
- ・半期を振り返ってみると利用者数については過去8年右肩上がりであるが、伸び率は落ちている。原因としてはネットプリントへの移行により印刷機の利用が伸びず、大人数で作業をするために来館するということが減ったことも一因であると思われる。
- ・そういった状況に対応するため、昨年「にぎわい大作戦」として見直しを行い、外から見えるような形でのアピール、中に入りやすい導線づくりそして大きな変更点として展示コーナーを増設して人を集めるということ等を行ってきた結果、人の往来が増えたと思われる。今後も更に

外からも見えるようにし、新規の利用が増えるようにしたいと考えているので、アイデアやご意見などがあればいただきたい。

- ・紙折機の不調については、部品交換等修理を行い、現時点では問題なく使えるように復旧している。
- ・芸術劇場の音の問題等、構造上の問題で解消が難しい問題についてもご意見がある。
- ・コート紙対応の紙折機の導入については予算との兼ね合いもあるので、今後検討していきたい。
- ・「感謝・お褒めの声」の中で、施設内で見直した部分について評価をいただいている。

(市民生活課：久里浜・追浜について)

- ・4～10月の利用者数の実績でみると、久里浜は5月以外前年度比で減。追浜は6月以外前年度比で減となっている。
- ・コピー機の利用料金収入は久里浜・追浜ともに前年度比で減。印刷機の利用料金収入は久里浜が前年比で微増となっているが、追浜は前年比で減となっている。
- ・コピー機の利用については設置場所が多くあることから利用が分散していることが想定され、印刷機の利用についてはネット印刷の更なる普及により今後利用がシフトしていくことが想定される。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・スタッフの対応について評価されていてよいと思う。
 - ・紙折機は需要があるのか。
- 現在利用簿で集計しているが、日によってばらつきがあるものの平均すると1日1,000枚程度の利用はある。特に町内会等の総会が集中する4月5月には利用が多いように思う。(指定管理者)

1－(2)夏のボランティア・市民活動体験2018報告

指定管理者から、資料2に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・今年度は37団体でイベントは47イベントがあり、昨年度よりも多く開催ができた。
- ・関東学院大学と県立保健福祉大学の授業への出張PRやFMブルー湘南などでPRを行い、なるべくたくさんの方の多くの方の市民の方に参加してもらえるようにPRを行った。関東学院大学では150名ほどの学生に、県立保健福祉大学では49名ほどのまとまった学生にPRができるので、参加した団体からは学生に参加してもらえたという声も聞いている。
- ・ポスターコンクールについては、これまで活動紹介コーナーでの展示終了後、入口付近に場所を移して展示していたものを、今年度はポスターの掲示をガラスに外向けに掲示するように変更した。結果多くの方の目に触れるようになったが、前回の懇話会時にも報告したとおり投票数が減ってしまったことが今後の課題と考えている。
- ・全体としては、今年度から名称を「夏のボラ市」に変更したことで、覚えやすくなり参加しやすくなったというような声も聞いている。
- ・今年度は猛暑や台風の影響等でアウトドアのイベントは内容の変更や中止にした団体がいくつかあったが、中止のため参加できなかった学生が別の形でその団体の活動に関わってくれたと聞いていることから団体も工夫して対応してくれたようである。
- ・報告集は発行済みであり、団体へ送付したほか、サポートセンターにも配架し閲覧できるようにしている。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・参加団体の感想として、学生が2人参加してくれた。連絡も取れるようになり非常にうれしかった。高校生は先生が勧めてくれたようである。良い体験ができた。
 - ・学生の具体的な数については把握しているのか。
- 申し込みは個々の団体あてに直接であるため把握しきれていない。今後何らかの形で把握できるように検討したい。(指定管理者)

1- (3) のたろんフェア 2019 について

指定管理者から、平成31年2月開催予定の「のたろんフェア 2019」について報告した。

(指定管理者)

- ・参加団体の締切日が本日となっているが、現時点では97団体からの申し込みがある。
- ・8月から毎月実行委員会を開催しており、12月には参加団体説明会を実施する。
- ・昨日時点で60数団体であったが、実行委員会事務局の声掛け等により現在の状況となった。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・新企画は現在計画中であるが、コンセプトとしては参加団体間の交流も目的としているほか、今回は3階にある産業交流プラザとのイベントとのコラボも検討中である。
- 実行委員会事務局からはSDGsに関して企画を提案している。(指定管理者)
- ・懇話会の出展が記載されているがどのように参加するか。
- 次年度は懇話会構成員の改選時期でもあるため、構成員募集のPRのパネルを作製し展示してはどうかと考えているがいかがか。また、内容については事務局に一任ということによろしいか。(市民生活課)
- 異議なし(出席全委員)

2 議題

2- (1) サポートセンターデータベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から、資料3に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・会員数の決まりはあるのか。
- 発足時は1名でも、今後会員数を増やす予定であれば可としている。(指定管理者)
- ・今回の団体の一覧の中に、自治体との関わりについて報道されていた団体に類似している団体があるように思われるが。
- 推察のとおりである。いろいろな考え方があがるが、市民活動を支援するという施設の目的として判断している。(指定管理者)
- ・考え方は理解できるが、市との整合性は整理しておくべきではないか。
- 市として既に指定管理者と意見交換をしている案件である。結果として市の関わりの有無と施設の利用は切り離して考えるという対応としている。(市民生活課)

3 その他

市民公益活動ポイント制度 座談会の開催について

市民生活課から資料5に沿って説明した。

(市民生活課)

- ・市民公益活動ポイント制度については市民協働審議会において概ね5年を目安に見直し検討を行うよう答申されている。
- ・今後の問題点や課題について団体の意見をいただくために座談会を開催するものである。
- ・ポイント制度参加団体へは直接送付しており、自由応募用にサポートセンターにもチラシを配架している。
- ・座談会に参加できない場合にも意見を記載して提出できるようにしている。
- ・意見聴取については予めテーマを3点設定し、それぞれについて意見交換を行うことを予定している。

市民公益活動ポイント制度の実施状況について

市民生活課より参考資料を基に説明があった。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・ポイント券は講演会等の運営に使えるのか。
→ポイント制度は、ボランティア参加者のきっかけや励みになることを目的としているため、直接運営に使うことはできない。運営に要する経費の助成については別の市民協働推進補助制度というものがあるので、そちらを検討いただきたい。なお、ポイント券は団体への寄附としても使えるので、そういった場合には使えるともいえるが、それはあくまでもポイント券受領者の判断となる。(市民生活課)
- ・そもそも自主性を重んじるボランティア活動において、ポイント券というのはその趣旨と乖離しているように感じるが。
→今回座談会を開催する目的には、そういった意見も含めた現場の生の声を聞きたいというところにある。いただいたご意見についてはこの場で承っておく。(市民生活課)
- ・ポイント券はカードの方が使いやすいのでは。
→そのような意見も含めポイント制度についてより良くするための意見をいただきたいと考えている。(市民生活課)
- ・開催の案内についてはどのように周知しているのか。
→今年の参加団体あてには直接通知を送付している。(市民生活課)
- ・座談会当日に継続してほしいという意見が多く出た場合、その意見の方向になるのか。
→サポートセンターに、座談会に参加できなくても意見をいただけるように用紙を置いているのでその用紙にご記入いただくことで対応する。(市民生活課)

市民活動サポートセンターの利用者について

(指定管理者)

・市民活動サポートセンターの利用者を増やすアイデアをもらいたい。この場でなくとも個別にご連絡いただいても構わない。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・市民活動を始めてみたいが、具体化しておらず、何から始めてよいかわからない等潜在的需要を掘り起こすことを考えてみてはどうか。
- ・3階にある「よこすか芸術劇場」に来場した人を取り込められるとよいのでは。

連絡事項

(市民生活課)

- ・市民活動・NPOのための団体の魅力発見講座（12月11日）のお知らせ。

(指定管理者)

- ・生涯現役フォーラム（11月17日）のお知らせ。

- ・第4回運営懇話会は平成31年2月20日（水）18：30～サポートセンターにて開催予定。

以上